

## 点から面へ。「春日まちゼミ」。

経営革新でそれぞれの事業者が強くなる点の部分から、まち全体がつながり面になる取組みをということで、「春日まちゼミ」を始めました。事業者様が講師となり、それぞれのお店で講座を開いてもらうイベントです。足を運んでもらうことで参加店と受講者のつながりができるので、集客にもなり、住んでいるまちを知ることができます。初の開催となった一昨年は27の事業者様にご参加いただきました。昨年はコロナ禍となり実施することはできませんでしたが、今年は秋の開催に向け進めています。



▲春日市商工会独自に、経営革新の事例集を発行。



◀実績が伺える、エントランスに掲示された「経営革新承認書」。

経営革新承認件数  
県内トップクラス。  
多柱運営で目指すは  
「都市型商工会」。



## 商工会の 取組み

SOCIETY OF COMMERCE AND  
INDUSTRY

## 春日市商工会

1960年設立。職員数13名(うち経営指導員4名)、会員数(事業者数)1,895会員(2021年7月末現在)。春日市で商売をする人・起業する人を、経営相談・資金調達・税務、労務相談など様々な面で支援するほか、地域の経済活性化を図るため地域総合振興事業を行っている。



所在地 福岡県春日市伯玄町 2-24 電話番号 092-581-1407

<http://www.kasuga21.com>

## 事業者に寄り添う活動を目指して



春日市商工会で長らく現場での支援に携わってきた大西さんに、経営革新についてお話を伺いました。



経営指導員 大西 亘さん

### 傾聴をして、企画をして、実行をしていく。

日々の活動において事業者様と接する際、ふとした会話の中に新たな商品・サービス開発や現状改善へのご希望など経営に対する様々な想いに触れることがあります。そういった話を聞く中で心掛けていることが“傾聴”です。まず話をお伺いし、モチベートし、その想いをどう描きカタチにしていくか。それを実現していくことが私たちの役割だと思っています。実行支援補助金ができただけで、計画作成のみならず、実行・確認・改善までをトータルでサポートできる点に、更なるやりがいを感じました。

### チームの取組みが支援力の向上に。

私自身、入社後6年間は経営支援員で、5年目に経営支援員の立場で経営革新プロジェクトチームの一員になったことが飛躍の契機でした。専門的な経営支援に触れる中で、多くの専門家の支援ノウハウを知る貴重な機会となりました。また、計画完成までのプロセスで事業者様との信頼関係を築くことができ、その後の伴走支援に繋がるきっかけにもなりました。今では経営指導員も経営支援員も経営サポートの『起点』として経営革新支援を行っています。この職種を問わず経営革新に携わることができる職場の風土は、春日市商工会の強みであると感じています。



### VOICE 事業者の声

美容室「ヘアートリム」代表 宮原 稔さん

よく相談に行かせてもらっています。大西さんとは色々な話をするのですが、信頼をしているからこそ安心して相談できますね。応えてくれるので助かっています。これからも何かあったときは相談をしていきます。

### 支援する側にも気付きをくれる“経営革新”。

経営革新は事業者様に気付きを促し、革新していこうということが基盤にあるのですが、色々な業種のたくさんの方の経営革新に携わらせていただいていることで、支援する私たちにとってもたくさんの気付きがあります。経験を活かし地域の事業者様の、ひいては“まち”の活性化につながるお手伝いを、これからもしっかりと続けていきたいと考えています。



### PICKUP

福岡県内には52の商工会と19の商工会議所があり、経営指導員をはじめとする支援者の方々が、経営革新の伴走支援に取り組んでいます。今回は、県内トップクラスの計画承認件数を誇る春日市商工会にお話を伺いました。

### 目指すは、経営支援に特化した商工会。

2009年までは地域振興事業に力を入れており、「春日奴国あんどん祭り」の運営や特産品づくりを主に取組んでいました。年間の半分近くを祭りや特産品づくりに専念せざるを得ない状況で、商業・サービス業が多い春日市にとって、会員が相談しづらい環境に陥っていました。そこでこれまでの地域振興から、会員への経営支援に特化した商工会になろうと、2010年頃から大きく舵を切りました。「経営革新」「管理会計」「創業支援」など年度ごとに重点目標を設定。“多柱運営”で経営支援に特化した、目指すは都市型商工会として力を入れることにしました。先ずはご相談に訪れた事業者様の話を親身になりよく聞き相談にのること。また、支援目標を一人一人の目標件数にするのではなく、チームで取組む目標件数にすること。このことが事業者様への経営革新の活用提案につながり、結果に表れました。取組みを始めて3年で100件を超え、2020年度までの11年間で410件の承認件数は、職員にとっても大きな自信となっています。

### INTERVIEW 会長



吉岡 統三氏  
YOSHIOKA TOUZO

### チームで取組む経験を活かして。

経営革新を指導員と支援員、そして中小企業診断士の先生を交えチームで取組んでいます。支援員も携わることでその経験がスキルアップにつながり、指導員の任用試験を受ける職員が増えています。試験後、指導員となり他の地域で経営革新に取り組んでいる話をよく耳にするのですが、当会での経験をもちに活躍されている姿は、とても嬉しいですね。それぞれのエリアで地域特性があるので、臨機応変に対応できる指導員としてけん引し、活躍してほしいです。

■春日市商工会の過去11年の経営革新承認企業数

